

授業科目	家族・児童福祉特講 Welfare for Family and Child			担当教員	安田 誠人		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
この「家族・児童福祉特講」は、多様な生活課題を抱える人びとの自己実現を支援しうる能力の形成や、人びとのウェルビーイング実現へ向けての社会をデザインすることができる高度な知識・技術・倫理等を獲得するという目標達成の一環として、障がいのある子どもへの支援や児童および児童の暮らす場である家族に焦点を当てて学修することで、今日の家族・児童福祉をめぐる諸問題を探究し理解する。							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	今日起こっている子どもをめぐる問題をリアルに捉えることができる			研究報告（レジュメ）	20%		
思考・判断	今日起こっている子どもをめぐる問題の背景にあるものを分析することができる			授業における質疑内容	40%		
技能・表現							
知識・理解	子ども・家族の抱える諸問題を解決し子どもの福祉を向上させるために活用しうる社会福祉サービスを、個々の問題に合わせて説明できる			授業における発言 期末レポート	10% 30%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
講義時には、思考を深めつつ聞いているか、また積極的に質問をできているかなど、また、研究報告・討議の際には、発表内容の質やプレゼンテーション、期末に課すレポートにより、知識・理解度を確認し、総合的に評価する。							
授業の概要							
<p>国連で「児童の権利に関する条約」が採択されて25年以上を経過した今日でもなお、虐待問題や障害のある子どもに対する問題などがクローズアップされているように、子どもをめぐる状況には深刻なものがあります。そこで、改めて現代社会における子どもと家庭をめぐる問題状況を捉えかえし、それら一つひとつの問題を解決ないし緩和していくための支援を展開する上で必要な理念とそれに基づいて求められる施策のあるべき姿をおさえ、その上で、一つひとつの問題について考察を深めることをとおして、児童福祉の「研究力」獲得を目指す。</p> <p>前半は講義、後半は関心あるテーマについての研究報告をもとにした討議という形で行う。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書・参考書：特に指定しませんが、文献は適宜紹介する。</p> <p>（例①上續宏道・安田誠人・立花直樹編著「福祉と教育の接点」晃洋書房、2014年）</p> <p>（例②伊藤良高他編著「豊かな育ちを支えるソーシャル・キャピタル」ミネルヴァ書房、2018年）</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
いま「子どもと家庭」がおかれている状況や、実際に起こっている問題に関心を持って臨んで欲しい。							

回	テーマ	授業の内容	予習、復習
1	現代社会と「子ども・家庭」	子ども・親の生きづらさとその背景、子どもの有能性への着目とその視点から見たこれからの子ども・大人関係	予：シラバスを読む 復：今日の大人・子ども関係を整理する
2	「子ども・家庭」福祉の理念と権利擁護	子ども観と児童福祉理念の発達、今日求められる「子ども・家庭」福祉理念と権利擁護	予：「子ども・家庭」福祉の理念を調べる 復：福祉理念の獲得過程について振り返る
3	「子ども・家庭」をめぐる諸問題	「子ども・家庭」をめぐる問題状況の概観とテーマを見つけ出す視点	予：「子ども・家庭」をめぐる諸問題を概観する 復：その背景を分析する
4	「子ども・家庭」福祉研究のための基礎知識	修士論文に求められるもの、テーマ設定の仕方	予・復：修士論文での課題等の検討
5	保護を要する子ども その1	要保護児童をめぐる	予：保護を要する子どもとは 復：授業の振り返り
6	保護を要する子ども その2	非行児童をめぐる	予：非行児童の概況 復：非行に追い込まれる背景
7	障害のある子ども その1	統合保育①	予：統合保育の現状 復：今後の保育のあり方
8	障害のある子ども その2	統合保育②	予：統合保育の現状 復：今後の保育のあり方
9	保育・子育て支援	家族・地域の変化、母親の就労の一般化、子どもの発達上の問題と保育に求められるもの	予：家族・地域の変化と子育て 復：求められる子育て支援
10	健全育成	地域の組織化、放課後児童クラブなど	予：子どもが地域で育つには 復：新しい地域の組織化のあり方
11	ひとり親家庭	母子家庭・父子家庭の抱える問題	予：ひとり親家庭の貧困状況 復：求められる支援制度
12	子ども虐待 その1	子ども虐待の背景とその実際	予：子育てにおける親の苦悩 復：求められる支援
13	子ども虐待 その2	子ども虐待をなくしていくためには	予：子ども虐待防止・ケア 復：子どもに対する支援
14	ドメスティックバイオレンス	ドメスティックバイオレンスの実態と背景	予：ドメスティックバイオレンスの実態 復：背景分析
15	まとめ		これまでの授業の振り返り